茜, 市川佳弥, 丹原 惇, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 二段階口蓋形成術施行片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価 第1報 - 軟口蓋形成術式: Perko 法と Furlow 法での比較-. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 134頁, 2019.

- 35) サラザール アンドレア レイ エスタシオ, 児玉泰光, 結城龍太郎, 大湊 麗, 永井孝宏, 渡部桃子, 山田 茜, 市川佳弥, 丹原 惇, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 二段階口蓋形成術施行片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価 第2報 - 硬口蓋閉鎖時期: 5歳半と4歳での比較-. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 134頁, 2019.
- 36) 児玉泰光, 結城龍太郎, Salazar Andrea Rei Estacio, 大湊 麗, 永井孝宏, 渡部桃子, 山田 茜, 市川佳弥, 丹原 惇, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 二段階口蓋形成術施行片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価 第3報 - 術式と術期の異なる2群間での比較-. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 135頁, 2019.
- 37) 長谷部大地, 竹山雅規, 片桐 涉, 齋藤 功, 小林正治: 外科的矯正治療の適応基準と矯正治療単独とのボーダー症例の検討. 形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2019年2月8日.

【研究会発表】

- 1) 近藤淳子, 塚田しげみ, 後藤早苗, 丹原 惇, 児玉泰光, 高木律男, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂児に対する療育サポートミーティングにおける 歯科衛生士の集団的口腔衛生指導の取り組み. 第8回日本小児診療多職種研究会, 静岡, 2020年2月1日-2日.

【受賞】

- 1) 市川佳弥, 丹原 惇, 朝日藤寿一, 宮田昌幸, 親松 宏, 児玉泰光, 新美奏恵, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側口唇口蓋裂患児における外鼻形態変化の短期的評価. 令和元年度日本口蓋裂学会 優秀論文賞, 2020年3月4日.
- 2) Osawa K, Nihara J, Nishiyama H, Takahashi K, Honda A, Atarashi C, Takagi R, Kobayashi T, Saito I: Classification of 3-dimensional mandibular deviation using cluster analysis in patients with mandibular

prognathism. Most Excellent Poster Award at “The 58th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons”, October 31st to November 2nd, 2019.

- 3) 網谷季莉子, 竹山雅規, 丹原 惇, 高橋功次朗, 大島康義, 小林正治, 齋藤 功: 性別、年代別にみた閉塞性睡眠時無呼吸と顎顔面形態、BMIとの関連性. 第78回日本矯正歯科学会学術大会優秀発表賞, 2019年11月20日-22日.
- 4) 長崎 司, 福井忠雄, 栗原加奈子, 坂上 馨, 深町直哉, 阿部 遼, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 舌圧と顎顔面筋群の筋活動同時測定による嚥下運動解析法の有用性. 第78回日本矯正歯科学会学術大会優秀発表賞, 2019年11月20日-22日.
- 5) 大澤知朗, 丹原 惇, 西山秀昌, 高橋功次朗, 本多綾子, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 三次元CT画像を用いた骨格性下顎前突症患者における下顎骨偏位の様相について. 第29回日本顎変形症学会総会・学術大会優秀ポスター賞, 2019年6月8日-9日.
- 6) 丹原 惇, 西山秀昌, 秋葉陽介, 大内章嗣, 小野和宏 (キー・コース開発プロジェクトチーム): 学士課程教育における汎用的能力の育成とルーブリックを用いたパフォーマンス評価. 平成30年度新潟大学学長教育賞 2019年5月20日.

【その他】

- 1) Jun Nihara: Applying Numerical Simulation to Orthodontics with Niigata University. <https://www.synopsys.com/simpleware/news-and-events/simulation-orthodontics-niigata.html>, 17th September 2019.
- 2) 栗原加奈子: 成人前歯部開咬症の舌突出が嚥下時舌圧発現様相に与える影響. 新潟歯学会誌49(1): 33-34頁, 2019.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 嚥下. 基礎歯科生理学第7版(岩田幸一, 井上富雄, 船橋 誠, 加藤隆史編), 医歯薬出版株式会社, 東京, 400-412頁, 2020.
- 2) 井上 誠: 吸啜. 基礎歯科生理学第7版(岩田幸一, 井上富雄, 船橋 誠, 加藤隆史編), 医歯薬出版株式会社, 東京, 413-418頁, 2020.
- 3) 井上 誠: オーラルフレイル. 図とイラストだからわかるサルコペニア・フレイル, 遠藤直人編, クリ

- ニコ出版, 東京, 73-77 頁, 2019.
- 4) 井上 誠: 筋電図検査. これでナットク! 摂食嚥下機能評価のコツ, Monthly Book Medical Rehabilitation No240, 全日本病院出版会, 東京, 105-112 頁, 2019.
 - 5) 井上 誠: 4 章 II 摂食嚥下に関わる機能 (生理). 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第 2 版, 公益財団法人日本歯科衛生士会監修, 東京, 46-55 頁, 2019.
 - 6) 井上 誠: 基礎編 嚥下の生理学. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 20-25 頁, 2019.
 - 7) 井上 誠: 基礎編 呼吸, 発声. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 37-40 頁, 2019.
 - 8) 辻村恭憲, 井上 誠: 基礎編 2 章 1) 咳嗽. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 40-43 頁, 2019.
 - 9) 井上 誠: 基礎編 嘔吐の生理学. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 43-44 頁, 2019.
 - 10) 伊藤加代子, 井上 誠: 臨床編 1 4 章 5) 唾液, 味覚, 嗅覚. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 94-96 頁, 2019.
 - 11) 辻村恭憲, 井上 誠: 臨床編 2 3 章 7) 嚥下造影. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 145-147 頁, 2019.
 - 12) 井上 誠: 臨床編 その他の検査. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 154-156 頁, 2019.
 - 13) 伊藤加代子, 井上 誠: 臨床編 2 7 章 2) 外来患者の口腔衛生管理. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 189-192 頁, 2019.
 - 14) 辻村恭憲, 井上 誠: 臨床編 3 2 章 病院での対応. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 220-222 頁, 2019.
 - 15) 真柄 仁, 下畑享良: 臨床編 4 2 章 疾患別症例 ② 神経変性疾患における嚥下障害. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 259-260 頁, 2019.
 - 16) 真柄 仁, 堀 一浩: 臨床編 4 2 章 疾患別症例 ③ 頭頸部腫瘍術後における嚥下障害. 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学第 2 版 (井上 誠, 弘中祥司監修), 医歯薬出版株式会社, 東京, 265-269 頁, 2019.
 - 17) 伊藤加代子: 第三章 14 周辺領域の症状・疾患 9 歯科口腔領域. 女性医学ガイドブック更年期医療編 2019 年度版 (日本女性医学学会編), 金原出版, 東京, 299-302 頁, 2019.
- 【論文】**
- 1) Watanabe T, Shimokakimoto T, Jayatilake D, Inoue M, Suzuki K: A portable sensor sheet for measuring the eating pace in meal assistance care. IEEE in press, 2019.
 - 2) Tsujimura T, Inoue M: Evaluation of the association between orofacial pain and dysphagia. J Oral Sci 62(2): 156-159, 2020.
 - 3) Murakami K, Minagi Y, Hori K, Uehara F, Salazar SE, Inoue M, Maeda Y, Ikebe K, Ono T: Evaluation of hyoid movement during swallowing using a bend sensor. J Oral Rehabil 47(3):339-345, 2020.
 - 4) Koshi N, Magara J, Sakai S, Tsujimura T, Ono K, Inoue M: Properties of hyoid muscle contraction during tongue lift measurement. J Oral Rehabil 47(3):332-338, 2020.
 - 5) Tsujimura T, Ueha R, Yoshihara M, Takei E, Nagoya K, Shiraishi N, Magara J, Inoue M: Involvement of the epithelial sodium channel in initiation of mechanically evoked swallows in anaesthetized rats. J Physiol 597(11):2949-2963, 2019.
 - 6) Ashiga H, Takei E, Magara J, Takeishi R, Tsujimura T, Nagoya K, Inoue M: Effect of attention on chewing and swallowing behaviors in healthy humans. Sci Rep 9(1):6013, 2019.
 - 7) Ito K, Edahiro A, Watanabe Y, Ohara Y, Motohashi Y, Morishita S, Motokawa K, Watanabe Y, Hirano H, Inoue M: Qualitative analysis of the vocabulary used in work logs of a preventive programme for elderly oral function and nutrition. J Oral Rehabil 46(8):723-729. 2019.
 - 8) Sasegbon A, Watanabe M, Simons A, Michou E, Vasant DH, Magara J, Bath P, Rothwell JC, Inoue M, Hamdy S: Cerebellar rTMS restores pharyngeal brain activity and swallowing behavior after disruption by a cortical virtual lesion. J Physiol 597(9):2533-2546. 2019
 - 9) 伊藤加代子, 辻村恭憲, 真柄 仁, 渡邊賢礼, 白石成, 那小屋公太, 竹石龍右, 井上 誠: 車椅子実習に対する歯学部 1 年次生の意識に関する検討. 新潟

大学高等教育研究, 7:1-8, 2020.

- 10) 大西淑美, 池上由美子, 寺西典子, 藤岡香代子, 花岡宏美, 伊藤久美, 江戸美奈子, 辻 唯衣, 川野知子, 伊藤加代子: がん治療患者におけるインプラント周囲組織の炎症に関するリスク因子の検討. 日衛学誌, 14(1): 61-71, 2019.8.
- 11) 羽尾直仁, 辻村恭憲, 白石 成, 井上 誠: 摂食嚥下リハビリテーションを実施したクロウ・深瀬 (POEMS) 症候群の 1 例. 新潟歯学誌 49(1): 19-24, 2019.

【商業誌】

- 1) 井上 誠: 命の危険を招く「嚥下障害」を進行させない賢知恵袋. 女性自身介護スペシャル, 110-112, 2020.
- 2) 伊藤加代子, 井上 誠: 歯科発 QOL 向上のためのおいしさ支援 味覚障害の早期発見&治療. デンタルダイヤモンド, 2020(1): 34-39, 2020. 1.
- 3) 伊藤加代子: 目と肌を乾燥不調から守る最新ケア. ハルメク, 12:67-69, 2019.
- 4) 井上 誠: 食品科学に関する情報: 超高齢社会における食品開発のキーワードを伝授します. 製パン工場 Vol148 (9): 3-9, 2019.9.
- 5) 渡邊賢礼: Impossible を I'm possible に: こどもの摂食嚥下でやるべきこと. 歯界展望, 134(2): 380-383, 2019.8.
- 6) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠: これでわかる, 対応できる, 口腔乾燥症の診査と治療. The Quintessence, 38(6): 54-67, 2019.6.
- 7) 伊藤加代子, 井上 誠: 【更年期診療 UPDATE】更年期女性への対応, 更年期女性の口腔症状への対応. 医学のあゆみ, 269(1): 45-49, 2019.4.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (提案申請者): Dental and orofacial research required in a super aged society. 令和元年度さくらサイエンスプラン, 国立研究開発法人科学技術振興機構, 2019.
- 2) 井上 誠 (研究分担者): 嚥下障害患者の安全な経口摂取に寄与する咽喉頭感覚障害評価法の研究開発. 日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業感覚器障害分野, 2019.
- 3) 井上 誠 (分担研究者), 辻村恭憲 (分担研究者): 嚥下障害モデル動物を用いた摂食嚥下障害の病態解明. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 19K10201, 2019.
- 4) 井上 誠 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者): 加齢に伴う摂食関連機能と形態変化ならびにその

関係. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 17K12041, 2019.

- 5) 井上 誠 (分担研究者): ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価法と嚥下リハビリ地域連携システムの確立. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 18K10669, 2019.
- 6) 井上 誠 (分担研究者): 食欲中枢の制御機構と破綻の分子基盤の解明. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 17H04372H, 2019.
- 7) 井上 誠 (分担研究者): 精神科における誤嚥性肺炎予防のための連携型摂食嚥下障害ケアプログラムの開発. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 挑戦的萌芽, 17K19800, 2019.
- 8) 真柄 仁 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者): 口顎口腔運動学習による嚥下関連高次脳ネットワーク再構築を検証する. 令和元年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 19K10243, 2019.
- 9) 真柄 仁 (分担研究者): 消化器外科手術後の包括的嚥下機能評価に関する研究. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 17K00813, 2019.
- 10) 船山さおり (研究代表者), 伊藤加代子 (分担研究者), 井上 誠 (分担研究者): 自発性異常味覚の診断に関わる 5 因子の検討. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 17K12043, 2019.
- 11) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者): 口腔と咽頭をつなぐ三叉神経傍核が咀嚼嚥下に果たす役割. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 17K11775, 2019.
- 12) 伊藤加代子 (分担研究者): 縦断研究による高齢者の唾液流量に関する回帰モデルの作成. 平成 30 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 19H03899H, 2019.
- 13) 那小屋公太 (研究代表者): 咀嚼・嚥下・呼吸の相互変調効果に関する神経学的解析. 平成 31 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究, 19K19120, 2019.
- 14) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者): 摂食嚥下運動の動作解析を通して見えてくる食品開発へのヒント. 新潟大学 U-go グラント, 950 千円, 2019.
- 15) 辻村恭憲: 新潟大学論文投稿等支援プログラム, 2019.
- 16) 那小屋公太: 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) に起因する嚥下機能低下の生理学的検証. 2018 年 GSK ジャパン研究助成, 2019.
- 17) 井上 誠 (研究代表者): 身体フレイル患者における

口腔・咀嚼機能とその改善に関わる因子。(公財)8020 推進財団, 2019.

- 18) 井上 誠: 咀嚼嚥下機能支援機器の開発. 公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団平成 30 年度調査研究助成金, 2019.
- 19) 井上 誠: 脳神経領域における嚥下障害治療薬のメカニズム. エーザイ研究助成金, 2019.
- 20) 井上 誠 (研究分担者), 辻村恭憲 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者): 摂食嚥下機能評価をベースとした誤嚥性肺炎患者に対するクリニカルパス策定と有効性の検討. 新潟市医師会地域医療研究助成, 2019.
- 21) 油脂粉末を摂食嚥下した際に知覚する冷涼感の評価とメカニズム解明に関する共同研究(日清オイリオ), 2019.
- 22) 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費(新潟県歯科医師会), 2019.
- 23) 摂食嚥下リハビリテーション分野における研究助成寄付金(カレイド株式会社), 2019.
- 24) 摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成(恵風園), 2019.
- 25) 摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成(とやの中央病院), 2019.
- 26) 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究助成(にいがた摂食嚥下障害サポート研究会), 2019.
- 27) 井上 誠: 口腔ケア時の吸引圧および吸引器具形状に関する研究(共同研究), 村田製作所, 2019.
- 28) 井上 誠: 米菓の易咀嚼性のメカニズム(共同研究), 亀田製菓株式会社, 2019.
- 29) 井上 誠: 咀嚼を起点として健康寿命延伸に寄与する, 杉浦地域医療振興助成, 杉浦記念財団, 2019.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Tsujimura T, Inoue M: Peripheral mechanisms of mechanically evoked swallows. The 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, B-Con Plaza (Beppu), Japan, 2020.3.17-19.
- 2) Kulvanich S, Sakai H, Ito K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Effect of oral function on resumption of oral intake in acute dysphasic inpatient. International Collaborative Symposium on “Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment”, Discovery Kartika Plaza Hotel (Bali, Indonesia), 2020.2.10-12.
- 3) Takei E, Magara J, Tsujimura T, Kulvanich S, Inoue M: How do we determine the timing of swallow during chewing? International Collaborative Symposium on “Development of Human Resources in Practical Oral

Health and Treatment”, Discovery Kartika Plaza Hotel (Bali, Indonesia), 2020.2.10-12.

- 4) Magara J, Sunada Y, Tsujimura T, Ono K, Inoue M: Physiological properties of hyoid muscles during continuous tongue lift movement accompanied by tongue pressure measurement. International Collaborative Symposium on “Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment”, Discovery Kartika Plaza Hotel (Bali, Indonesia), 2020.2.10-12.
- 5) 井上 誠: これからの口腔リハビリテーション. 第 33 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会会長講演, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019 年 11 月 10 日.
- 6) 井上 誠: 摂食嚥下とフレイル. 第 6 回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟, 2019 年 11 月 9 日.
- 7) 辻村恭憲, 井上 誠: 摂食嚥下障害の評価と対応. 日本心臓リハビリテーション学会第 4 回関東甲信越支部地方会, 朱鷺メッセ, 新潟, 2019 年 9 月 21 日.
- 8) 井上 誠: 人生 100 年を生きるためのリテラシー～食を通じて考える～. 第 4 回チームケア学会, 明治大学中野キャンパス, 東京, 2019 年 9 月 11 日.
- 9) Inoue M: Neural mechanisms underlying swallowing initiation and coordination between chew and swallow. JSDR2019, Toki Messe, Niigata, 2019.9.6-7.
- 10) 真柄 仁: 口腔の感覚刺激がもたらす嚥下運動の変調効果. 歯科補綴治療に関係した感覚機能の解明に関する将来的展望. 日本補綴歯科学会第 128 回学術大会 イブニングセッション, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2019 年 5 月 10-12 日.
- 11) 伊藤佳彦, 富田洋介, 竹井絵理: 日本顎口腔機能学会第 60 回学術大会優秀賞受賞者企画シンポジウム「捕食動作とおいしさを科学する～食べ方や見た目ってそんなに大事?～」. 日本顎口腔機能学会第 62 回学術大会, 名古屋, 2019 年 4 月 13-14 日.

【学会発表】

- 1) Hao N, Tsujimura T, Watanabe M, Nagoya K, Inoue M: Indication of videoendoscopic and videofluoroscopic examinations of swallowing for patients with dysphagia. International Collaborative Symposium on “Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment”, Discovery Kartika Plaza Hotel (Bali, Indonesia), 2020.2.10-12.
- 2) Onuki W, Sakai H, Magara J, Tsujimura T, Ito K, Watanabe M, Nagoya K, Inoue M: Assessment Survey of Oral Hypofunction in Niigata University Medical and Dental Hospital. International Collaborative Symposium

- on “Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment”, Discovery Kartika Plaza Hotel (Bali, Indonesia), 2020.2.10-12.
- 3) Yoshihara M, Hino H, Nagoya K, Tsujimura T, Inoue M: Facilitatory effect of substance X on initiation of swallows in anesthetized rats. International Collaborative Symposium on “Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment”, Discovery Kartika Plaza Hotel (Bali, Indonesia), 2020.2.10-12.
 - 4) Tsujimura T, Yawata A, Inoue M: Comparison of physical properties of coughing and huffing in healthy humans. 49th Annual meeting of the society for Neuroscience 2019, McCormick Place in Chicago (Chicago), USA, 2019.10.19-23.
 - 5) Nagoya K, Nakamura S, Tsujimura T, Inoue M, Inoue T: Orexin change electrophysiological properties of Phox2b-expressing neurons located around trigeminal motor nucleus. 49th Annual meeting of the society for Neuroscience 2019, McCormick Place in Chicago (Chicago), USA, 2019.10.19-23.
 - 6) Magara J, Watanabe M, Tsujimura T, Inoue M: Long-lasting modulation of human cortical swallowing motor pathways following thermal tongue stimulation. 9th ESSD congress, Aula Der Wissenschaften (Vienna) Austria, 2019.9.20-21.
 - 7) Takei E, Maeda R, Kochi I, Inoue M: Inter-individual variation of chewing and swallowing behaviors in humans. 9th ESSD congress, Aula Der Wissenschaften (Vienna) Austria, 2019.9.20-21.
 - 8) Kulvanich S, Takei E, Ito K, Tsujimura T, Magara J, Inoue M: Association between oral and swallowing function and food items in elderly people at nursing homes. 9th ESSD congress, Aula Der Wissenschaften (Vienna) Austria, 2019.9.20-21.
 - 9) Tsujimura T, Inoue M : Involvement of the epithelial sodium channel in initiation of mechanically evoked swallows in anaesthetized rats. Neuro2019, Toki Messe (Niigata), Japan, 2019.7.25-28.
 - 10) 岩森 大, 田中智美, 西山かずみ, 寺尾幸子, 井上 誠: ゲル化剤を用いて調整した嚥下調整食パンの検討. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019年11月9-10日, 日本口腔リハ会誌 32(1):72-73頁, 2019.
 - 11) 石澤尚子, 真柄 仁, 渡邊賢礼, 笹 杏奈, 井上 誠: 皮膚筋炎に起因した嚥下障害に対し摂食嚥下リハビリテーションを行った2症例. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019年11月9-10日, 日本口腔リハ会誌 32(1):70-71頁, 2019.
 - 12) 大久保 明, 辻村恭憲, 船山さおり, 羽尾直仁, 井上 誠: 聴神経鞘腫摘出後に嚥下障害を認めた一例. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019年11月9-10日, 日本口腔リハ会誌 32(1):69頁, 2019.
 - 13) 五十嵐源太郎, 辻村恭憲, 井上 誠: ICTツールを活用した食事に関する多職種情報共有の試み. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019年11月9-10日, 日本口腔リハ会誌 32(1):68頁, 2019.
 - 14) 黒川 亮, 那小屋公太, 井上 誠, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院における医療連携口腔管理チームの取り組みについて. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019年11月9-10日, 日本口腔リハ会誌 32(1):66頁, 2019.
 - 15) 建部一毅, 真柄 仁, 井上 誠: 誤嚥性肺炎入院患者における摂食嚥下機能評価項目の検討. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019年11月9-10日, 日本口腔リハ会誌 32(1):61-62頁, 2019.
 - 16) 鈴木 拓, 辻村恭憲, 井上 誠: 当院における摂食嚥下障害臨床への歯科的介入の試み. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019年11月9-10日, 日本口腔リハ会誌 32(1):60-61頁, 2019.
 - 17) 山田 剛, 渡邊賢礼, 真柄 仁: 壮年期在宅脳性麻痺患者への舌接触補助床の効果. 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2019年11月9-10日, 日本口腔リハ会誌 32(1):70頁, 2019.
 - 18) 荻野奈保子, 船山昭典, 新美奏恵, 三上俊彦, 井上 誠, 小林正治: 口腔癌患者のQOLに影響を及ぼす要因の検討. 令和元年度新潟歯学会第2回例会, 新潟大学, 新潟, 2019年11月9日, 新潟歯学誌 49(2):89頁, 2019.
 - 19) 岩渕博史, 山本一彦, 中川洋一, 土井田 誠, 服部佳功, 伊藤加代子, 山内智博, 中村誠司: 4学会合同口腔乾燥症用語・分類検討委員会報告 口腔乾燥症の新分類(案), 第33回日本口腔診断学会・第30回日本口腔内科学会・第13回日本口腔検査学会合同学術大会, 一橋大学, 東京, 2019年9月21-23日, 日口内科誌 25(2):69頁, 2019.
 - 20) 渡邊賢礼, 秋元幸平, 古野芳毅, 今野よしみ, 田村美奈, 岩浅寛子, 井上 誠: 食べるを支える産学官ばりあふり〜お食事会. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ, 新潟,

- 2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 701頁,2019.
- 21) 小貫和佳奈,竹井絵理,渡邊賢礼,井上 誠:種々のとろみ水やゼリー食品が嚥下動態に与える影響.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 647頁,2019.
- 22) 笹 杏奈,伊藤加代子,吉原 翠,竹井絵理,坂井遥,上村由紀子,秋元幸平,井上 誠:「食の支援ステーション」におけるニーズに関する質問調査.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 570頁,2019.
- 23) Kulvanich S,竹井絵理,井上 誠:Association between swallowing function and food items in elderly at nursing homes.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 534頁,2019.
- 24) 岩森 大,石井深雪,斎藤真理奈,佐藤今日子,寺尾幸子,井上 誠:キザミ食へのとろみ付与により咀嚼嚥下に及ぼす影響.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 533頁,2019.
- 25) 伊藤加代子,前川知樹,濃野 要,井上 誠:舌ブラシの形状が細菌除去およびブラシ洗浄後の残留細菌数に与える影響.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 519頁,2019.
- 26) 相澤知里,岸本奈月,竹井絵理,Kulvanich S,井上誠,荒川 亮,折原由希子:結晶性油脂の不思議:錯覚としての冷覚刺激による嚥下運動への効果.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 501頁,2019.
- 27) 高地いづみ,竹井絵理,前田留美子,真柄 仁,辻村恭憲,井上 誠:咀嚼時間を決定する因子 -米飯での検証-.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 464頁,2019.
- 28) 日野遥香,那小屋公太,白石 成,鈴見梨紗,上村由紀子,高波里帆,Kulvanich S,井上 誠:頸静脈孔神経鞘腫術後に嚥下障害を認めてバルーン訓練が奏功した一例.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 412頁,2019.
- 29) 八幡晶子,辻村恭憲,井上 誠:気道防御運動の運動特性比較.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 406頁,2019.
- 30) 竹井絵理,真柄 仁,辻村恭憲,井上 誠:米菓摂取時の世代間咀嚼動態および食塊物性の違い.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 401頁,2019.
- 31) 坂井 遥,鈴見梨紗,Kulvanich S,伊藤加代子,井上 誠:急性期病院における摂食嚥下障害患者の経口摂取再開に関する因子.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 353頁,2019.
- 32) 清野由美子,小山 諭,井上 誠,鈴木 拓,吉原翠,洪水 瞳,笹 杏奈,鈴見梨紗,坂井 遥,廣川ひとみ:精神科病院における入院患者の誤嚥性肺炎リスク評価.第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,朱鷺メッセ,新潟,2019年9月6-7日,第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 348頁,2019.
- 33) 多賀智治,伊藤加代子,船山さおり,井上 誠:舌痛をもたらす要因に関する検討,令和元年度新潟歯学会第1回例会,新潟,2019年7月13日,新潟歯学誌 49(2):78頁,2019.
- 34) 高地いづみ,竹井絵理,真柄 仁,辻村恭憲,前田留美子,井上 誠:米飯摂取時の咀嚼時間の個人差に関する検討,令和元年度新潟歯学会第1回例会,新潟大学,新潟,2019年7月13日,新潟歯学誌 49(2):77-78頁,2019.
- 35) 竹内千華子,竹井絵理,伊藤加代子,井上 誠:炭酸水嚥下時の官能評価と筋活動の関係,令和元年度新潟歯学会第1回例会,新潟大学,新潟,2019年7月13日,新潟歯学誌 49(2):77-78頁,2019.

- 36) 古志奈緒美, 真柄 仁, 酒井翔悟, 辻村恭憲, 小野和宏, 井上 誠: 舌挙上運動時における舌骨筋の機能特性. 令和元年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学, 新潟, 2019年7月13日, 新潟歯学誌 49(2):77頁, 2019.
- 37) 八幡晶子, 辻村恭憲, 井上 誠: 健康成人における咳嗽, ハフイング, 嚥下の運動特性の比較, 令和元年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学, 新潟, 2019年7月13日, 新潟歯学誌 49(2):74-75頁, 2019.
- 38) 真柄 仁, 井上 誠: 誤嚥性肺炎クリニカルパス策定に向けた摂食嚥下機能評価項目の検討. 日本老年歯科医学会第30回学術大会, 仙台国際センター, 仙台, 2019年6月6-8日, 老年歯学 34(2):185頁, 2019.
- 39) 真柄 仁, 井上 誠: 延髄外側症候群の嚥下障害に対し可徹性補綴装置を装着した一症例. 日本補綴歯科学会第128回学術大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2019年5月10-12日.
- 40) 竹井絵理, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 米菓摂取時の咀嚼特性と食塊物性. 日本顎口腔機能学会第62回学術大会, 名古屋, 2019年4月13-14日.
- 41) 吉原 翠, 那小屋公太, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 麻酔下ラットにおける喉頭 TRPV1 持続活性化による嚥下誘発への影響. 日本顎口腔機能学会第62回学術大会, 名古屋, 2019年4月13-14日.
- 42) 笹 杏奈, 渡邊賢礼, 井上 誠: 食道癌術後に嚥下障害・嗝声を認め長期的介入が奏功した一症例. 第20回日本言語聴覚学会, iichiko総合文化センター, 全労済ソレイユ・大分県立美術館, 大分, 2019年6月28-29日.

【研究会発表】

- 1) 石田雅樹, 建部一毅, 小幡裕明, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 誤嚥性肺炎入院患者の摂食嚥下機能に応じたクリニカルパスの実施. 第8回新潟市医師会 地域医療研究助成発表会, 新潟大学医学部有任記念館, 新潟, 2020年1月25日.
- 2) 吉原 翠, 那小屋公太, 辻村恭憲, 井上 誠: 麻酔下ラットにおける喉頭 TRPV1 持続活性化による嚥下誘発の変調. 第13回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 軽井沢, 2019年11月30日-12月1日.
- 3) 辻村恭憲, 吉原 翠, 日野遥香, 那小屋公太, 真柄 仁, 井上 誠: 機械刺激誘発嚥下における上皮型ナトリウムチャネルの役割, 第13回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 軽井沢, 2019年11月30日-12月1日.
- 4) 那小屋公太, 中村史朗, 吉原 翠, 日野遥香, 辻村恭憲, 井上 誠, 井上富雄: 三叉神経運動核背側網様体に分布する Phox2b 陽性ニューロンに対する Orexin 変調効果, 第13回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 軽井沢, 2019年11月30日-12月1日.
- 5) 竹井絵理: 食品摂取時の顎口腔機能評価. 米及び加工食品の新市場創出に向けたマッチングフォーラム in にいがた 2019, 新潟, 2019年9月3日.
- 6) 井上 誠: これからの介護食・これからの高齢者の食. FOOMA JAPAN 2019 アカデミックプラザ, 東京ビックサイト (東京都・江東区), 2019年7月10日.

【受賞】

- 1) 高地いづみ, 竹井絵里, 前田留美子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 咀嚼時間を決定する因子-米飯での検証-. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会奨励賞, 2019年.
- 2) 相澤知里, 岸本奈月, 竹井絵理, 真柄 仁, 井上 誠: 結晶性油脂がもたらす嚥下誘発促進効果. 平成31年度日本歯科医師会/デンツプライシロナ, スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP) 臨床部門第2位, 日本歯科医師会館, 東京, 2019年8月23日.

【その他】

- 1) 笹 杏奈, 船山さおり: 言語訓練, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2020年2月25日.
- 2) 日本・アジア青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプラン, 2020年2月13-19日
- 3) 井上 誠: 地域に根付いた歯科医師が実践する摂食嚥下リハビリテーション. 山梨勤労者医療協会講演会, ホテル石風, 笛吹, 2020年2月1日.
- 4) 小貫和佳奈, 辻村恭憲: 摂食嚥下の仕組みと評価, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2020年1月28日.
- 5) 日野遥香, 伊藤加代子: 口腔ケア. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2020年1月14日.
- 6) 武田安永, 辻村恭憲: 高齢者の栄養, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年12月24日.
- 7) 辻村恭憲, 羽尾直仁: 摂食嚥下スクリーニング検査, 江南区口腔ケアと摂食嚥下を考える会, 亀田第一病院, 新潟, 2019年12月2日.
- 8) 那小屋公太, 日野遥香: 摂食嚥下の訓練. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年11月26日.
- 9) 井上 誠: 超高齢社会における摂食嚥下障害への挑

- 戦. Evening Seminar & communication Salon, TKP 田町カンファレンスセンター, 東京, 2019年11月22日.
- 10) 井上 誠: 摂食嚥下機能評価と診断. 未来院長塾2019, グランフロント大阪, 大阪, 2019年11月16日.
 - 11) 船山さおり: 口腔乾燥症・味覚障害. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年11月12日.
 - 12) 伊藤加代子: 適切な口腔保湿剤を選ぶには, 第33回日本口腔リハビリテーション学会学術大会ランチョンセミナー, 新潟, 2019年11月10日.
 - 13) 上村由紀子, 船山さおり: 言語訓練, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年10月8日.
 - 14) 井上 誠: 摂食嚥下障害の基礎知識. 未来院長塾2019, グランフロント大阪, 大阪, 2019年10月6日.
 - 15) 伊藤加代子: 文献紹介, 低栄養を呈する在宅療養患者における口腔乾燥と栄養に関する複合介入効果, 日摂食嚥下リハ会誌, 23(2):146-147, 2019.
 - 16) 井上 誠: 摂食嚥下障害の知られていること・知らないこと. 第8回竹田健康財団福祉用具展講演会, 竹田総合病院, 会津若松, 2019年9月30日.
 - 17) 渡邊賢礼: 精神疾患と摂食嚥下障害, 河渡病院医療安全研修会, 河渡病院, 新潟, 2019年9月25日.
 - 18) Inoue M: What can we do for elderly?-Oral hypofunction and dysphagia-. Thammasat University, Chulalongkorn University, Thailand 2019.9.24-25.
 - 19) 船山さおり, 辻村恭憲: 食事介助, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年9月24日.
 - 20) 伊藤加代子: 口腔乾燥症患者への口腔ケア, 認定訪問歯科衛生士講座, DVD, 2019年9月.
 - 21) 井上 誠: 摂食嚥下機能の基礎知識. 未来院長塾2019, グランフロント大阪, 大阪, 2019年9月15日.
 - 22) 小貫和佳奈, 那小屋公太: 摂食嚥下の仕組みと評価, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2019年9月10日.
 - 23) 井上 誠: 医科歯科連携で行う摂食嚥下リハビリテーション. 桑名病院 NST 勉強会, 桑名病院, 新潟, 2019年9月9日.
 - 24) 伊藤加代子, 日野遥香: 口腔ケア. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年8月27日.
 - 25) 新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野: What and how can we expect from videoendoscopy? 新潟大学歯学部同窓会セミナー, 新潟大学歯学部, 新潟, 2019年8月25日.
 - 26) 辻村恭憲: 美味しく, 楽しく, 安全な食を目指して, 国立病院機構新潟病院, 柏崎, 2019年8月23日.
 - 27) 真柄 仁, 井上 誠, 渡邊賢礼: 基礎と臨床から考える嚥下運動記録 - 明日からあなたもエキスパート -, 第11回顎口腔機能セミナー, ビレッジ安曇野, 安曇野, 2019年8月17-19日.
 - 28) 伊藤加代子, 後藤理恵: 口腔乾燥症・味覚障害. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年8月13日.
 - 29) 武田安永, 辻村恭憲: 高齢者の栄養, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年7月23日.
 - 30) 井上 誠: 摂食嚥下の臨床. 新潟県歯科医師会認定障害者診療医養成事業, 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2019年7月20日.
 - 31) 新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野: これからの介護食・これからの高齢者の食. FOOMA JAPAN 2019 アカデミックプラザ, 東京ビックサイト, 東京, 2019年7月9-12日.
 - 32) 笹 杏奈, 那小屋公太: 言語訓練, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年7月9日.
 - 33) 伊藤加代子: 健康寿命の延伸は歯と口腔の健康から～オーラルフレイルについて～, 歯を守る市民の会おとな部会, 長野市保健所, 長野, 2019年6月27日.
 - 34) 伊藤加代子: 口腔の健康とQOL向上を目指して～口腔乾燥症, 味覚障害, 口腔機能低下への対応～, 長野市歯科医師会, ホテル信濃路, 長野, 2019年6月27日.
 - 35) 那小屋公太, 羽尾直仁: 摂食嚥下の訓練. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年6月25日.
 - 36) 井上 誠: 食べること・飲み込むこと. 新潟明訓高等学校, 2019年6月19日.
 - 37) 井上 誠: さくらサイエンス実施報告, 歯学部ニュース, 平成30年第2号(134号)60-62, 2019.
 - 38) Magara J: Clinical and research approaches to dysphagia in dentistry. Thammasat University, Khonkean University, Thailand 2019.6.18-19
 - 39) 那小屋公太, 羽尾直仁: 食事介助. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年6月11日.
 - 40) 井上 誠: にいがた摂食嚥下障害サポート研究会発足十周年の想い, 食の支援ステーションニュース第

6号, 2019年6月3日.

- 41) 辻村恭憲, 小貫和佳奈: 摂食嚥下の仕組みと評価, 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年5月28日.
- 42) 井上 誠: 歯科医学が貢献できる摂食嚥下障害の臨床と研究. 平成31年度キャリアアップ講演会, 徳島大学, 徳島, 2019年5月22日.
- 43) 羽尾直仁, 那小屋公太: 口腔ケア. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年5月14日.
- 44) 井上 誠: 摂食・嚥下セミナー. 第15回新潟福祉機器展講演会, 新潟市産業振興センター, 新潟, 2019年5月11日.
- 45) 船山さおり, 日野遥香: 口腔乾燥症・味覚障害. 2019年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟, 2019年4月23日.
- 5) Soda M, Saito K, Ida-Yonemochi H, Nakakura-Ohshima K, Kenmotsu S, Ohshima H: Reduced enamel epithelium-derived cell niche in the junctional epithelium are maintained for a long time in mice. *J Periodontol* 2019 Sep 9. doi: 10.1002/JPER.19-0269. [Epub ahead of print]
- 6) Hasegawa T, Takenaka S, Ohsumi T, Ida T, Ohshima H, Terao Y, Naksagoon T, Maeda T, Noiri Y: Effect of a novel glass ionomer cement containing fluoro-zinc-silicate fillers on biofilm formation and dentin ion incorporation. *Clin Oral Investig*. 24(2): 963-970, 2020.
- 7) Hasegawa T, Takenaka S, Wakamatsu R, Ohsumi T, Domon H, Ohshima H, Terao Y, Noiri Y: A horizontal sequential cutting method to estimate the effectiveness of dentin disinfection by using confocal laser scanning microscopy. *J Endod* 45(9): 1142-1147, 2019.
- 8) Horigome Y*, Ida-Yonemochi H*, Waguri S, Shibata S, Endo N, Komatsu M (*co-first author): Loss of autophagy in chondrocytes causes severe growth retardation. *Autophagy* 16(3): 501-511, 2020.
- 9) Saito K, Nakatomi M, Ohshima H: Dentin matrix protein 1 compensates for lack of osteopontin in regulating odontoblast-like cell differentiation following tooth injury in mice. *J Endod* 46(1): 89-96, 2020.
- 10) Tohma A, Ohkura N, Yoshiba K, Takeuchi R, Yoshiba N, Edanami N, Shirakashi M, Belal RS, Ohshima H, Noiri Y: Glucose transporter-2 and 4 are involved in glucose supply during pulpal wound healing following pulpotomy with mineral trioxide aggregate in rat molars. *J Endod* 46(1): 81-88, 2020.
- 11) Takeuchi R, Ohkura N, Yoshiba K, Tohma A, Yoshiba N, Edanami N, Shirakashi M, Belal RS, Ohshima H, Noiri Y: Immunohistochemistry and gene expression of GLUT1, RUNX2 and MTOR in reparative dentinogenesis. *Oral Dis* 26(2): 341-349, 2020.
- 12) Tsuneki M, Maruyama S, Yamazaki M, Niimi K, Kobayashi T, Nishiyama H, Hayashi T, Tanuma J: Masseter muscle hypertrophy: A case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 31: 428-431, 2019.
- 13) Tamanaha-Nakasone A, Uehara K, Tanabe Y, Ishikawa H, Yamakawa N, Toyoda Z, Kurima K, Kina S, Tsuneki M, Okubo Y, Yamaguchi S, Utsumi D, Takahashi K, Arakawa H, Arasaki A, Kinjo T: K1 gene transformation activities in AIDS-related and classic type Kaposi's sarcoma: Correlation with clinical presentation. *Sci Rep* 9(1): 6416, 2019.
- 14) Okumura G, Kondo N, Sato K, Yamazaki K, Ohshima H, Kawashima H, Ogose A, Endo N: Experimental arthritis with *Porphyromonas gingivalis* administration showed a

硬組織形態学分野

【著書】

- 1) 大島勇人: エナメル質・象牙質・歯髄. 歯科再生医学(村上伸也, 網塚憲生, 齋藤正寛, 松本卓也 編), 第1章 歯科再生医学のための顎顔面発生生物学・組織学, 7-17頁, 医歯薬出版, 東京, 2019.
- 2) 大島勇人, 宮坂京子, 三浦公志郎: 5. 消化器系. (栄養科学シリーズNEXT) 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 栄養解剖生理学(河田光博, 小澤一史, 上田陽一 編), 113-147頁, 講談社, 東京, 2019.

【論文】

- 1) Ohshima H, Amizuka N: Oral biosciences: The annual review 2019. *J Oral Biosci* 62(1): 1-8, 2020.
- 2) Khadiza N, Hasegawa T, Nagai T, Yamamoto T, Miyamoto-Takasaki Y, Hongo H, Abe M, Haraguchi M, Yamamoto T, Yimin, Qiu Z., Sasaki M, Kuroshima S, Ohshima H, Luiz de Freitas PH, Li M, Yawaka Y, Amizuka N: Immunolocalization of podoplanin/E11/gp38, CD44, and endomucin in the odontoblastic cell layer of murine tooth germs. *Biomed Res* 40(4): 133-143, 2019.
- 3) Saito K, Ohshima H: The putative role of insulin-like growth factor (IGF)-binding protein 5 independent of IGF in the maintenance of pulpal homeostasis in mice. *Regen Ther* 11: 217-224, 2019.
- 4) Aizawa C, Saito K, Ohshima H: Regulation of IGF-I by IGFBP3 and IGFBP5 during odontoblast differentiation in mice. *J Oral Biosci* 61(3): 157-162, 2019.